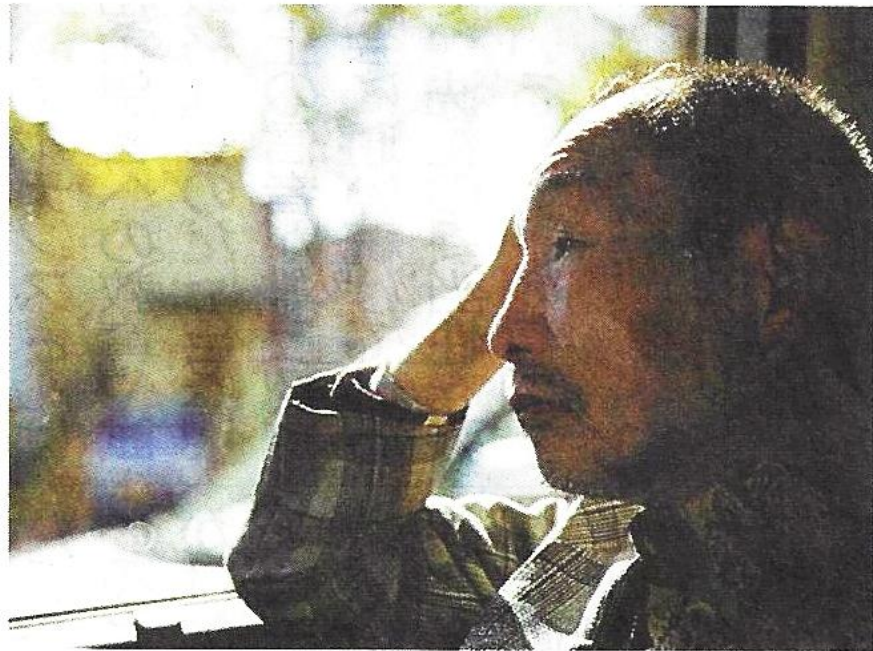


袴田巖 夢の間の世の中



1966年に静岡県で一家4人が殺され、袴田巖さんが逮捕された。死刑判決を受けた袴田さんは冤罪を主張し続ける。いわゆる袴田事件。2014年3月に再審開始が決まって釈放された彼を追ったドキュメンタリーである。

獄中生活で精神を病んだ袴

田さんは家の中を歩き回り、意味不明のことをつぶやく。

その日常に獄中日記を重ねながら、同居して世話を焼く姉との生活を淡々と映す。長く極度の緊張を強いられた袴田さんの姿は悲劇的だ。と同時にユーモアも漂う。権力の横暴を声高に糾弾するより、袴田姉弟に寄り添うまなざしがいい。柱時計の音が、失った時間の重みを感じさせる。金聖雄監督。1時間59分。ポレポレ東中野で公開中。(勝)

もう一言

重いテーマを扱うがクスツツと笑える場面も。ゆったりと描かれる日常に浸って失われた時間の貴さを知らせてくれる作品。(最)